

第3学年道徳学習指導案

1 主題名 自然を大切に思う心（3-① 自然愛）
 2 資料名 「どうしたのかな」（ぬくもり 3・4年）
 3 主題設定の理由

(1) 価値に ついて 学年の内容項目 3-①は「自然のすばらしさや不思議さを知り、自然や動物を大切にす。」となっている。科学や科学技術の著しい進歩を遂げ、日常生活の中で私たちが暮らしている。しかし、その反面、科学の進歩とともに自然破壊や環境汚染などの事態を生む結果にもなっている。超えたり、不思議なもの、すばらしく、そして美しい物である。人類はそれを知らず、自分たち都合の良いことに目を奪われ、偉大な自然の中心に生きていくことになっている。自然破壊が急速に進み、環境問題は、地球全体の問題となっている。自然と人間との関わりについての見直しを図り、生き物すべての今、我々人類は改めて、自然と人間との関わりについての見直しを図り、生き物すべてを土壌は自然である必要があり、それに調和し、順応しながら生きていかなければならないことをしっかり自覚する必要がある。

(2) 資料について
 資料「どうしたのかな」は、津屋崎町や海の中道に卵を産みに来るアカウミガメが、海岸に捨てられたゴミによって絶滅の危機に瀕していること、そして、ゴミがアカウミガメの命を奪っていること、自分たちもできることについて考える。マリンワールドの人の話を聞いたり、めぐる環境問題についてよりいこうという意識をもつ。

4 指導計画 2時間計画

配時	学習活動	教師の支援
1時 (本時)	「アカウミガメはどうして死んだのか」という問題を考えることで、環境問題について考えさせ、自分のできる範囲で自然環境をよくしようという思いをもたせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・絶滅の危機にあるアカウミガメのことを知る。 ・ゴミがアカウミガメの命を奪っていることを知る。 ・自分たちもができることについて考える。
2時	マリンワールドの人の話を聞いたり、めぐる環境問題についてよりいこうという意識をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・マリンワールドの人に、人間が環境を悪化させることによって生物がどのような影響を受けているかの話を聞く。 ・事前に疑問点や詳しく聞きたいことを考えさせておく。

5 本時の指導

(1) ねらい
 「アカウミガメはどうして死んだのか」という問題を考えることで、環境問題について考えさせ、自分のできる範囲で自然環境をよくしようという思いを持たせる。

(2) 展開

	学習活動	指導上の留意点
導入	1. ウミガメについて知る。 ○何の写真でしょうか。(海岸に残ったカメの足跡) ・車のあとかな。 ・生きものの足跡かも。 ・カメの写真だったんだ。 ○カメについて何か知っていることはありませんか。 ○ 実はね。このウミガメは「アカウミガメとい	<ul style="list-style-type: none"> ・いきなり写真を見せることで子どもの好奇心を揺さぶる。 ・テンポ良くヒントを出し、授業に引き込む。 ・お互いのカメについての内部情報を共有化させる。 ・アカウミガメについての情報を与える。 ・写真を多く見せることで、子ど

<p>展開前段</p>	<p>うカメなんです。」福岡県では、福岡市とほかにか 4カ所です。卵を産みに上陸してきます。卵は、ま 2ヶ月も無事にせいちょうするのはそのうち1匹く れてもいいです。子どもが海に帰っているところ 海を泳いでいるすがたです。このくらいの大き に成るには20年から30年かかります。 ○実はこのアカウミガメたち困ったことがおこ って</p> <p>2. アカウミガメを苦しめるゴミについて考え る</p> <p>○このカメはいったいどうしたのでしょうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寝ているのかな。 ・死んでいるようだ。 ・悪い物を食べたんだ。 <p>「この死んだカメのお腹の中からでてきた物なん です。カメはね、いかとクラゲが大好きです。 ゴミを間違えて食べてしまうのです。」</p> <p>○アカウミガメは、絶滅寸前の動物です。このま いまでは、あと何年くらいで絶滅してしまうと思 いますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10年くらいかな。 ・100年くらいかな。 <p>「10年で数が半分になって20年で一匹もいな くなってしまおうと言われていました。」</p> <p>○それで、カメを助けようと思った人達が、海に ゴミをすてないように看板をたてました。どうな ったでしょう？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミがなくなりました。 <p>「実は、その看板の写真です。」</p> <p>○これをみてどのように思いますか？感想を発表 しよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひどい。 ・ゴミを捨てる人が許せない。 	<p>もが情報を得られやすくする。</p> <p>・どの答えも認めて、「なるほど」と聞く。</p> <p>・アカウミガメの腹の中から出てきた、ゴミの写真を見せる。</p> <p>・挙手で確認する。</p> <p>・ゴミを捨てるなどと言う看板の前 に捨てられたたくさんの写真を見 せる。</p> <p>・カメの気持ちになって考えさせ ることで、ゴミを捨てることへ怒 りを感じさせる。</p>
<p>展開後段</p>	<p>3. 自分たちの行動をふり返る ○とどこかたがゴミをゴミ箱以外の場所に棄てたり 落としたりしたことがある人はいますか？運動場 にゴミが落ちているのを見たらほとんどの場合 ミを拾うと思う人？</p> <p>○これはね、運動場に落ちていたゴミです。 「実はね？カメが死んでしまうのは、海に棄てた ゴミが風が舞ったり、川に落ちたりして海まで いってしまうのです。」</p> <p>○カメのためになにができることはどんな ことありますか？考えて思いつくだけ書きまし ょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミを捨てないようにする。 ・落ちているゴミを拾う。 ・ゴミを捨てる人を注意する。 	<p>・挙手で素早く確認。</p> <p>・自分たちが日頃、ゴミをどのよ うに扱っているのかを思い出させ る。</p> <p>・運動場に落ちていたお菓子の袋 などのゴミを1つずつ見せる。</p> <p>・じっくり考えさせるために、学 習プリントに書き込ませる。</p>
<p>終末</p>	<p>4. カメと自然を守る活動をしている人を知る 「実はね、恋の浦ウミガメの会』というカメ を守る人達がいます。この人達を中心にせ て毎年100人以上の人が集まって、ゴミを拾 うの12時から2時まで、見張っています。『今 年の調査には私教の先生も参加しました。今 年も自然環境を守りましょ。』」</p>	<p>・ねらいとする価値のまとめをす る。</p>